

愛媛県歴史文化博物館

No.51

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News



紺系威二枚胴具足
(伝土居清良所用)
(宇和島市教育委員会蔵)

平成19年度企画展

戦国南予風雲録

— 乱世を語る南予の名品 —

戦国から安土桃山時代にかけての南予地域ゆかりの資料を特集し、初公開の資料も紹介します。戦国という時代から南予を見つめ直してみませんか。

AUTUMN EVENT

秋の歴博

戦国時代を体感しよう！
開館記念無料開放DAY

学芸員調査ノート

- 海軍志願兵徴募ポスター
- 浄瑠璃本「志度寺の段 花上野 四ツ目」
- 叩き板と当て具
- 森永ミルクキャラメル化粧箱

INFORMATION

歴史文化講座のご案内
講演会のご案内

平成19年度企画展

戦国南予風雲録

— 乱世を語る南予の名品 —

10月6日[土]～12月2日[日]

今からおよそ400～500年前、日本は世に言う戦国時代がありました。全国各地に群雄が割拠し覇権を争った時代、伊予でも河野氏・西園寺氏・宇都宮氏など幾多の領主たちが並び立ちました。その乱世もやがては終息に向い、豊臣秀吉によって統一がなされます。秀吉は、伊予を「九州・中国のかなめどころ」と呼び、福島正則・戸田勝隆・加藤嘉明・藤堂高虎など屈指の武将たちが支配にあたりました。そして伊予は新しい時代を迎え、近世社会へと歩みを進めていきます。

この動乱の時代を象徴するもの、それはやはり"戦"なのかもしれません。多くの武将たちは戦の中に自らの飛躍の機会を見出し、戦の中でその名を歴史に刻んでいます。確かに華々しい合戦物語、勇ましい武将の武勇伝は昔から人々に好まれ、数多の物語として語られてきました。それゆえに、歴史上の英雄を数多く生み出したのもこの時代です。しかし、そうした戦の背後で、人々は生き、村は営みを続け、人や物は行き交い、文化を育み続けたのです。また、戦の世であるがゆえに、心の救いを求めて深く神仏に帰依しました。乱世から太平へと向かうこの時代は、日本の社会に大きな変化をもたらし、そして新しい近世の社会が作られることとなるのです。

今回の展示では、愛媛の中でも特に南予地域における戦国から安土桃山時代に関する資料を特集します。武将ゆかりの品々や、合戦にまつわる古文書、近年調査が進む中世城館遺跡の遺物をはじめ、当時の人々の生活文化を垣間見ることができる生活・信仰関連の資料も紹介します。地域ゆかりの文化財に触れ、豊かな地域史像を描くことは、地域の今を考えるひとつの材料となり、地域の将来を創る糧にもなると考えます。南予が潜り抜けた戦国という時代を見つめ直すひとつの機会となれば幸いです。現代愛媛の"原点"を探しにぜひご来場ください。



重要文化財 豊臣秀吉像 ((財)宇和島伊達文化保存会蔵)
展示期間[原本]10月6日～10月21日
[模本]10月23日～12月2日



酒飯論絵巻 (当館蔵)



絹地月星紋陣旗 (伝宇都宮宣綱所用)
(大安楽寺蔵)



大坂城出土金箔瓦 ((財)大阪府文化財センター蔵)



等妙寺旧境内出土褐釉六耳罿 (鬼北町教育委員会蔵)

【展示構成】

武将群像／いくさと城／生活と文化／中世の記憶／戦国体験
*期間中、一部の資料については展示替えを行います。

【会期中の催し】

企画展関連講座 13:30～15:00

10月6日(土)「戦国南予風雲録」のみどころ 山内治朋 (当館学芸員)
10月13日(土)「お経が語る中世の南予」土居聡朋氏 (愛媛県教育委員会)
11月10日(土)「現地を歩こう・河後森城跡」高山剛氏 (松野町教育委員会)
12月1日(土)「戦国愛媛の考古学」石岡ひとみ (当館学芸員)

*申込：講座名・住所・お名前・電話番号を記入のうえ、はがきかファックスで事前にお申込み下さい。

主催

愛媛県歴史文化博物館

後援

愛媛県市町教育委員会連合会

NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

開館時間

午前9時～午後5時30分 (入館は、午後5時まで)

休館日

毎週月曜日

但し、10月8日[月]・11月5日[月]開館、10月9日[火]・11月6日[火]休館。

観覧料	企画展	企画・常設展共通
大人	500円(400円)	700円(600円)
小中学生	250円(200円)	—

* () 内は20名以上の団体料金

* 65歳以上の方は常設展・企画展とも無料

11/3[土]

企画展イベント ※申込不要

着付け体験(先着20名)
お公家さんになってみよう!

公家の装束「束帯」の着付けをします。
10:00～12:00/13:00～15:00
参加費無料 対象:小・中学生(身長130cm以上)
※写真撮影可。カメラをご持参ください。

11/3[土]
4[日]

れきはくワークショップ ※申込不要

ペーパークラフト
冠(かんむり)を作っかぶろう!

紙を切って、貼って、子どもがかぶれる冠をつくります。
13:00～15:00
材料代:50円程度

11/4[日]

企画展イベント ※申込不要

着付け体験(先着20名)
よらい武者になってみよう!

足軽具足を身につけ、鉄砲隊に変身!
10:00～12:00/13:00～15:00
参加費無料 対象:小・中学生
※写真撮影可。カメラをご持参ください。



11/18[日]

企画展・歴博開館記念イベント ※申込不要

開館記念無料開放DAY

いつも博物館を利用させていただいている
皆さまに感謝をこめて、11月18日(日)
は常設展・企画展を無料開放!
ご家族そろってぜひおこしく下さい。



乗馬体験
野間馬にのってみよう!

戦国時代、重要な役割をになった「馬」。
実際にふれ、乗ってみよう!
10:00～10:45/11:00～12:00
13:00～13:45/14:00～15:00
対象:小学6年生まで(体重50kgまで)
参加費無料

工作体験
竹とんぼをつくろう!

名人が絶対に飛ぶ竹とんぼを教えてくださいよ!
10:00～12:00/13:00～15:00
材料費:100円程度

着付け体験(先着20名)
よらい武者になってみよう!

福島正則の甲冑を着て、君も戦国武者だ!!
10:00～12:00/13:00～15:00
参加費無料
※写真撮影可。
カメラをご持参ください。



あき れきはく
秋の歴博
せん ぞく じ だい
戦国時代を体感しよう!



お問い合わせ: 振興課企画普及係 tel.0894-62-6222 fax.0894-62-6161

年代：昭和20(1945)年
 サイズ：縦73.5cm×横52.5cm
 所蔵：当館蔵

海軍志願兵徴募ポスター

歴史・文書

民俗

考古

昭和21年度の海軍志願兵の募集ポスター。太平洋戦争は、昭和20年8月15日に終戦を迎えます。つまり、このポスターは終戦を予期せず、戦争の継続を前提に昭和20年の前半、恐らくは年度の替わった4月頃に製作されたものと思われます。

兵種と年齢は三種に区分され、水兵などは、大正15年12月3日～昭和5年12月2日までに出生した者、少年水兵は、昭和2年12月3日～昭和7年4月1日までに出生した者、飛行予科練習生は、大正15年12月3日～昭和7年4月1日までに出生した者となっています。

身体検査は年齢により差異があり、学力試験として国民学校高等科修了程度の算数が課されました。少年水兵や飛行予科練生の最低年齢は13歳です。まだあどけない生徒たちまでも、戦力とされたのです。願書締切期日が空欄のため、実際の使用や応募状況は不明です。しかし、終戦により、このポスターが失効したことは、幸いと言えるでしょう。

(学芸員 平井誠)



浄瑠璃本

「志度寺の段 花上野 四ツ目」

宇和島市戸島で

地元若連中が行っていた歌舞伎で使われた浄瑠璃本です。浄瑠璃の詞書を記した本のことです。戸島には、衣装と共に、全部で二二冊の浄瑠璃本が残されています。名前が記されたものもあり、稽古に取り組んだ若者達の活動ぶりがうかがえます。

「花上野」とは、「花上野誉石碑」をさします。江戸時代初期の剣豪・田宮坊太郎の仇討ち物語です。讃岐・丸亀藩藩士の父を、同じ家中の侍に殺された坊太郎は、柳生宗冬から剣の修行を受け、一八才で遂に仇を討ちます。志度寺の段は、坊太郎の乳母が自らを犠牲にして忠義を尽くす内容で、特に人気がありました。本は、元の表紙がとれ、厚紙で作り直しています。繰り返し大事に使われたことがわかります。

(学芸員 田中明子)



年代：明治15(1882)年
 サイズ：縦21.5cm×横16.5cm
 所蔵：当館蔵

歴史・文書

民俗

考古

*戸島歌舞伎関係資料の一部は、テーマ展「宇和海と段畑のくらし」(12月15日～)で展示する予定です。

歴史・文書

民俗

考古

叩き板と当て具

しゃもじか羽子板のよ

うに見える木の板と、いく

つもの円形の刻みが入った

把手付きの木製品。皆さんは

何に使ったものと思いますか。

実はこれらは須恵器を製作する

際に使ったと考えられる道具で、

それぞれ「叩き板(写真左)、「当

て具」(写真右)とよばれるもので

す。

一般的に須恵器は、粘土紐を積み上

げて成形していき、轆轤の回転を利用

して、より細かく土器の形に整えていき

ます。この細部を仕上げていく作業は調

整とよばれます。調整には、器壁を削り、

余分な厚みを取り除く作業や、土器表面の凸

凹をなくし、滑らかにする作業等がありま

す。「叩き板」と「当て具」もこの過程で用いられ、須恵器

の割れを防ぐため、内側を当て具でおさえ、外側から叩き板

で叩き締めたと考えられます。

これらは、昭和五二年に、松山市の久米窪田Ⅱ遺跡で見つ

かりましたが、現在でも県内において数例しか確認されてお

らず、大変珍しく貴重なものです。



年代:奈良時代

サイズ:叩き板 長さ25.6cm 最大幅8.4cm 厚さ0.8cm

当て具 最大径6.9cm 長さ7.6cm

所蔵:愛媛県教育委員会

(学芸員 亀井英希)

森永ミルクキャラメル化粧箱

左上には商標のエンゼルマーク。中央にはキャラメルをもつ西洋風の女の子。周囲は色彩豊かに装飾され、「MORINAGA'S MILK CARAMELS」の文字が目を引くこの箱には、ポケット用の箱入りキャラメルが60箱詰められていました。

キャラメルを日本で初めて製造販売したのは、森永商店(後の森永製菓)で明治32(1899)年のことです。

現在でも店頭で見られる箱入りキャラメルが登場したのは、大正3(1914)年の東京大正博覧会でポケット用紙サック入りミルクキャラメル(20粒入り10銭)が最初です。箱入りキャラメルを詰める箱がこのように華やかな印刷が施されているのも、当時キャラメルが高価な洋菓子であったことをうかがわせてくれます。

この箱の側面には、「森永製菓株式会社と工場と設備」として中央に東京第一工場が描かれ沿革と設備についての記述は破損していますが、「口現在設備/資本金 貳百五十万円/口地総坪数 十萬坪/口建坪数 一萬坪/従業員数 三千人/総動力 千馬力/壹日生産額 十五萬斤」などの文字が読み取れます。この側面の記載内容から大正11年頃のものではないかと考えられます。

(学芸員 安藤久美子)



年代 大正11(1922)年頃

サイズ 縦26.8cm×横21.5cm×高11.5cm

所蔵 当館蔵

*叩き板と当て具は、歴史展示室1に展示中です。

歴史・文書

民俗

考古

歴史文化講座

歴史講座

- 講座番号 ① 名誉館長歴史講座②「平安時代の書—装飾経を中心に—」
日時：9月20日(木) 13:30~15:00
講師：山本信吉 (当館名誉館長)
- 名誉館長歴史講座③「鎌倉時代の書—高僧の書—」
日時：10月18日(木) 13:30~15:00
講師：山本信吉 (当館名誉館長)
- ② 企画展関連「戦国南予風雲録」のみどころ
日時：10月6日(土) 13:30~15:00
講師：山内治朋 (当館学芸員)
- ③ 企画展関連「お経が語る中世の南予」
日時：10月13日(土) 13:30~15:00
講師：土居聡朋 (愛媛県教育委員会生涯学習課)
- ④ 企画展関連「現地を歩こう・河後森城跡」
日時：11月10日(土) 13:30~15:00
講師：高山 剛 (松野町教育委員会)
※現地集合・解散となります。

民俗講座

- 講座番号 ⑩ 写真や映像でみる段々畑の暮らし
日時：12月15日(土) 13:30~15:00
講師：宮本春樹 (愛媛県立宇和養護学校教諭)

考古講座

- 講座番号 ⑬ 副葬品から見た愛媛の古墳時代
日時：9月29日(土) 13:30~15:00
講師：富田尚夫 (当館学芸員)
- ⑭ 企画展関連「戦国愛媛の考古学」
日時：12月1日(土) 13:30~15:00
講師：石岡ひとみ (当館学芸員)

文書講座

- 講座番号 ⑰ 「藍山公記」を読む①・②
日時：10月27日(土)・11月24日(土) 13:30~15:00
講師：藤田 正 (当館学芸課長)

体験講座

- 講座番号 ⑳ 弥生人体験②「石包丁をつくろう」 (対象：小学生以上・一般)
日時：10月7日(日) 13:30~15:30
講師：亀井英希 (当館学芸員) 材料費：100円程度
- ㉑ 歴史から学ぶエコ生活②「はじめての裂織り」 (対象：小学生以上・一般)
日時：10月14日(日) 13:30~15:30
講師：松井 寿 (当館学芸員) 材料費：100円程度
- ㉒ 歴史から学ぶエコ生活③「裂織りで小物づくり」 (対象：一般)
日時：11月25日(日) 13:30~15:30
講師：安藤久美子 (当館学芸員) 材料費：300円程度
- ㉓ お正月準備! 「しめ飾りをつくろう」 (対象：小学生以上・一般)
日時：12月9日(日) 13:30~15:30
講師：奥田佐知子 (宇和町創作館) 材料費：200円程度
※体験講座は小学生の場合、保護者同伴でご参加ください。

- ◆受講料 無料 (但し教材費等の実費は受講者負担となります。)
- ◆申込方法 希望する番号及び講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入の上、郵送やFAXなどでお申し込みください。
- ◆申込期限 歴史・民俗・考古・文書の各講座は1週間前、体験講座は2週間前。

お問い合わせ

歴史文化講座：振興課 企画普及係
TEL(0894)62-6222 FAX(0894)62-6161

講演会

名誉館長記念講演会

「南予の歴史を皆さんと考える」

日時：11月18日 [日] 10:30~12:00

講師：山本信吉 (当館名誉館長)

会場：多目的ホール

元奈良国立博物館長で当館名誉館長の山本信吉が、企画展「戦国南予風雲録」にちなみ、南予の歴史を分かりやすくお話しします。

◆申込方法

「名誉館長講演会」希望とご記入のうえ、ご住所・お名前・電話番号をそえて、博物館に直接、または、ハガキやFAX・Eメール (rekishi-museum@pref.ehime.jp) でお申し込みください。



友の会NEWS

10/1より

友の会会費が半額になります。

友の会は、愛媛の歴史や民俗について学び親しむ人たちの集まりです。

10月1日より入会いただく場合、友の会の会費が半額になります。常設展が無料になる他、この秋の企画展も無料でご覧いただけます。

ぜひ、この機会に友の会へご入会ください。

お問い合わせ=友の会事務局

電話(0894)62-6222

開館記念無料開放DAY

11月18日[日]

当博物館は、11月で開館13年目を迎えます。

11月18日 [日] は、開館を記念し、常設展・企画展が無料でご観覧いただけます。

ぜひ、博物館に足をお運びください。

Museum Calendar 2007.9-11

● 休館日 ★ 開館記念日

9月						
日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	*	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	*	*	*	*	*	*

10月						
日	月	火	水	木	金	土
*	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	*	*	*

11月						
日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
*	*	*	*	*	*	*